

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式（2024 年）

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数								非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 作業 療法 士数	助手			
健康福祉 学部 作業療法 学科	6 人	7 人	0 人	2 人	15 人	6 人	11 人	0 人	35 人	11.5 人	
計	6 人	7 人	0 人	2 人	15 人	6 人	11 人	0 人	35 人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	基礎ゼミナール	15	金野達也, 他	専任
		実践英語 I a	15	中谷 早苗, 他	専任
		実践英語 I b	15	中谷 早苗, 他	専任
		実践英語 I c	15	NSE (外国人教員)	兼任
		実践英語 I d	15	NSE (外国人教員)	兼任
		情報リテラシー実践 I	15	白川 徹, 他	専任
		キャリア教育科目	15	林 祐司, 他	専任
		基本動作と移動障害	15	橋本 美芽	専任
		教育学	15	河合 隆平, 他	専任・兼任
		基礎科目群	15	岡村 郁子, 他	専任・兼任
		教養科目群	15	高鳥 直士, 他	専任・兼任
		総合ゼミナール	15	板倉 孝信	専任
		医療英語 a	15	小山田 幸永, 他	専任
		医療英語 b	15	國江 慶子	専任
		コミュニケーション論	15	谷村 厚子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	15	易 勤	専任
		解剖学 II	8	易 勤	専任
		解剖学演習	15	易 勤	専任
		解剖学実習	45	易 勤	専任

		生理学Ⅰ	15	渡辺 賢	専任
		生理学Ⅱ	8	渡辺 賢, 他	専任
		生理学演習	15	渡辺 賢	専任
		生理学実習	22.5	渡辺 賢, 他	専任
		生化学	8	渡辺 賢, 他	専任
		運動学	15	井上 薫	専任
		生活支援環境学	15	橋本 美芽, 他	専任
		作業運動学実習	22.5	井上 薫, 他	専任
		人間発達学	15	藺牟田 洋美	専任
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	感染・免疫学	8	國江 慶子	専任
		薬理学概論	8	木村 直史	専任
		病態学Ⅰ	8	白川 崇子, 他	専任
		病態学Ⅱ	8	白川 崇子, 他	専任
		外科学	15	足立 健介	兼任
		内科学	15	東條 克能, 他	兼任
		神経内科学	15	石川 秀樹	専任
		整形外科Ⅰ	15	北城 雅照	兼任
		整形外科Ⅱ	15	北城 雅照, 他	兼任
		精神医学Ⅰ	15	塩路 理恵子	専任
		精神医学Ⅱ	8	塩路 理恵子	専任
		小児科学	8	非常勤7名	兼任
		脳神経外科学	8	渡辺 修	兼任
		公衆衛生学	8	斎藤 恵美子, 他	専任
		画像診断学	8	白川 崇子, 他	専任
		精神保健学	8	塩路 理恵子	専任
		老年医学	8	渡辺 賢, 他	兼任
		救急医学	8	石川 秀樹	専任
	保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15	古川 順光, 他	専任
		保健医療概論	15	池田 由美, 他	専任
		リハビリテーション医学	15	長谷川 幹	兼任
		言語聴覚治療学概論	8	藤田 郁代, 他	兼任

専門分野		社会心理学	8	藺牟田 洋美	専任
		教育心理学	8	大内 義広	兼任
		臨床心理学演習	15	藺牟田 洋美	専任
		国際保健医療比較論	8	松浦 賢長	兼任
		災害保健科学概論	8	富田 拓郎	兼任
		ケア・マネジメント論		斉藤, 他	兼任
		障害児教育論	8	松浦 孝明	兼任
		関係法規（理学・作業）	8	和泉澤 千恵	兼任
		保健医療臨床心理学	15	藺牟田 洋美	専任
	基礎作業療法学	作業療法学概論	8	伊藤 祐子	専任
		作業療法学概論演習	15	伊藤 祐子	専任
		基礎作業学	8	ボンジェ ペイター	専任
		基礎作業学実習	45	石橋 裕, 他	専任
		作業遂行学	8	石橋 裕	専任
		作業療法リーズニング	8	ボンジェ ペイター, 他	専任
		作業療法支援機器研究	8	井上 薫, 他	専任
		メンタルヘルス作業療法	8	谷村 厚子	専任
		カウンセリング論	8	藺牟田 洋美	専任
		障がい者とスポーツ論	8	信太 奈美, 他	専任
		作業療法事例研究	8	小林 法一	専任
		作業療法学研究法	15	小林 法一	専任
		卒業研究	60	全教員（作業）	専任
		作業療法教育論	8	宮寺亮輔, 他	専任
		多職種連携Ⅰ	8	國江 慶子, 他	専任
		多職種連携Ⅱ	8	金野 達也, 他	専任
		多職種連携Ⅲ	8	國江 慶子, 他	専任
		IPE 海外短期研修	22.5	ボンジェ ペイター	専任
	作業療法管理学	作業療法管理学	15	宮寺 亮輔, 他	専任
	作業療法評価学	作業療法総合評価学	8	宮寺 亮輔, 他	専任
		作業療法総合演習Ⅰ	30	伊藤 祐子, 他	専任
		作業療法総合演習Ⅱ	30	宮本 礼子, 他	専任
	作業療法治療学	身体領域の作業療法学	15	石橋 裕, 他	専任

		身体領域の作業療法学実習	22.5	宮寺 亮輔, 他	専任
		認知機能作業療法学	15	宮本 礼子	専任
		認知機能作業療法学演習	15	宮本 礼子	専任
		内部障害作業療法学	8	石橋 裕, 他	専任
		精神領域の作業療法学	15	谷村 厚子	専任
		精神領域の作業療法学演習	15	谷村 厚子	専任
		発達領域の作業療法学	15	伊藤 祐子, 他	専任
		発達領域の作業療法学演習	15	伊藤 祐子, 他	専任
		高齢領域の作業療法学	15	小林 法一	専任
		高齢領域の作業療法学演習	15	小林 法一	専任
		日常生活活動学	8	ボンジェ ペーター	専任
		日常生活活動学実習	22.5	金野 達也, 他	専任
		義肢装具学	8	金野 達也, 他	専任
		義肢装具学実習	23	金野 達也	専任
		作業療法理論と実践	8	ボンジェ ペイター	専任
	地域作業療法学	リハビリテーション工学	8	高橋 (良)	専任
		住環境整備学	8	橋本 美芽	専任
		住環境整備学実習	22.5	橋本 美芽	専任
		生活支援機器学演習	15	井上 薫	専任
		地域作業療法学	15	金野 達也	専任
		就労支援技術論演習	15	宮本 礼子	専任
	臨地実習	作業療法初期臨地実習	90	全教員 (作業)	専任
		作業療法プロセス臨地実習	225	全教員 (作業)	専任
		作業療法総合臨地実習	157.5	全教員 (作業)	専任
		地域作業療法学実習	22.5	全教員 (作業)	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
作業療法の実践場面に参加し、見学および模倣を通して、技術の一部を経験する	2 年前期	日常生活活動学	1 年後期
		作業遂行学	1 年後期
		作業療法総合演習 I	2 年前期
		身体領域の作業療法学	2 年前期
		精神領域の作業療法学	2 年前期
		日常生活活動学実習	2 年後期
		発達領域の作業療法学	2 年後期
		認知機能作業療法学	2 年後期

		作業運動学実習	2年後期
		作業療法総合評価学	2年後期
		義肢装具学	2年後期
作業療法プロセスの観察・模倣を繰り返し、習得した技術の一部を実施する。また管理業務を	3年後期	高齢領域の作業療法学	2年後期
		発達領域の作業療法学演習	3年前期
		内部障害作業療法学	3年前期
		作業療法学研究法	3年前期
		作業療法総合演習Ⅱ	3年前期
		身体障害領域の作業療法演習	3年前期
		精神障害領域の作業療法演習	3年前期
		認知機能作業療法学演習	3年前期
		作業療法リーズニング	3年前期
		高齢領域の作業療法学演習	3年前期
観察・模倣による技術の習得および、理論とリーズニングに基づくクライアントの評価と支援を実施する	3年後期	生活支援機器学演習	3年前期
		義肢装具学実習	3年後期
		住環境整備学	4年前期
		就労支援技術論演習	4年前期
		地域作業療法学	4年前期
地域における作業療法士の多様な業務内容を経験し、役割と機能を学ぶとともに、情報・支援・評価・計画立案の一部を模倣により習得する	4年前後期	作業療法理論と実践	4年前期
		作業療法管理学	4年前期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	東京都立大学自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	学長
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	継続的収集データによる教育研究活動等の状況確認
	質保証チェックシートを活用した点検・評価
	部局重点課題の設定と進捗管理
	学長・部局長対話
自己点検・評価結果の公表	HPで公開（URL： <a href="https://www.tmu.ac.jp/university/info/hyouka.html">https://www.tmu.ac.jp/university/info/hyouka.html</a> ）



【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教務委員会部会
	委員構成等	健康福祉学部の各学科の教務委員，教務課長，教務係長，教務係係員
	改善の仕組みの実際	「シラバス作成の手引き」を全教員に配布し，シラバス作成の意義と留意点を提示している．また教務委員がシラバスを点検するとともに，学生を対象とするシラバスに関する無記名アンケートを全科目で毎年実施し，科目担当教員に結果を示すことで改善に努めている．

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自己点検・評価の結果については，年度当初の早い時期に学科会議の議題として取り上げ，対応を検討している．第三者評価の結果については法人または部局長と共有し，改善計画および改善の進捗を報告している．